

お知らせ

平成22年 5月17日

資料提供先 三次記者クラブ

「平成22年度 災害対策訓練」 を実施します。

国土交通省中国地方整備局では、梅雨や台風等による風水害に備えて、防災体制に万全を期するため、災害状況等の迅速かつ的確な収集と伝達に重点を置いて、下記のとおり災害対策訓練を実施します。

三次河川国道事務所では、情報伝達訓練等を下記のとおり実施します。

記

- ・訓練日時 平成22年5月19日(水) 9:30～15:30
- ・訓練場所 三次河川国道事務所4階 災害対策室

三次市十日市西6丁目2番1号

問い合わせ先：国土交通省三次河川国道事務所

(担当) 副所長 (河川) 梶井 芳樹

(担当) 副所長 (道路) 石川 庄嗣

(担当) 調査設計課長 丹後 浩一

TEL : (0824) 63-4121

FAX : (0824) 64-2240

URL : <http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/>

平成22年度 災害対策訓練の実施について

● 目 的

梅雨、台風等による出水期を控え、防災体制に万全を期するため、被災状況等の迅速かつ正確な伝達及び的確な指揮・対策に関する訓練を行うとともに、各種機器の点検も併せて実施するものです。

● 訓練概要

災害に対応するため、三次河川国道事務所災害対策支部を設置し防災上の確かな情報伝達及び指揮・対策のほか各関係機関の情報収集の訓練を行う。また、各関係機関や外部に対する情報提供、並びに広報活動について訓練を行う。

特に今回の訓練では、以下をポイントとして行う。

◆訓練ポイント◆

- ①人事異動による担当者の変更に伴い、災害情報の収集・伝達の手段・方法・伝達系統等、災害対応に必要な基礎的事項の再確認。
- ②地域が的確に判断し、行動するために必要な災害情報の提供訓練及び地方自治体への支援体制強化。
- ③関係機関等との情報共有の充実・強化。

● 訓練想定

5月7日に太平洋北西部で発生した台風3号は西に向かいながら、「強い勢力」に発達し、その後進路を北寄りに変えながら、18日21時頃には鹿児島県いちき串木野市付近に上陸し、暴風域を伴ったまま四国を縦断し、19日7時に大阪市付近に再上陸した。台風はその後、19日9時頃、福井市付近から日本海沿岸を沿って北上した。

この間、山陰沖に停滞していた前線と台風の影響により、中国地方各地で暴風、大雨となり、三次河川国道事務所管内において災害が発生したとの想定で災害対策訓練を実施します。

三次河川事務所では、以下の災害を想定しております。

- ・ 国道への土砂流出
- ・ 洗堀に伴う河川堤防破堤
- ・ 流入河川の増水に伴う家屋の浸水被害

● 訓練内容

今回の災害対策訓練は、国土交通省中国地方整備局管内のすべての事務所が参加して行われます。

三次河川国道事務所の訓練内容は以下のとおりです。

- 1) 水防警報、洪水予報、水位予測情報等の情報伝達及び災害被害報告の伝達訓練
- 2) 被害状況、緊急復旧状況の記者発表資料作成訓練
- 3) 各種IT機器・システム(CCTV、災害フォトシステム、災害情報共有プラットフォーム等)を利用し、現地から被災地の状況を画像情報で伝達。
- 4) 堤防の破堤に伴う、復旧工法検討訓練(机上)
- 5) 流入河川の増水に伴う浸水被害への対応として排水ポンプ車出動訓練(机上)

(H22新規訓練項目)

- 6) 地方公共団体への現地情報連絡員(リエゾン)※の派遣訓練
当事務所管理の江の川・馬洗川・西城川・神野瀬川及び国道54号の災害情報等の提供や市町村の災害情報の収集、災害復旧の調整・支援を行う。

※現地情報連絡員(リエゾン)とは、迅速かつ円滑な災害応急対策及び災害支援を目的として中国地方整備局管内の地方公共団体へ職員を派遣し、災害情報等の情報収集、災害応急対策の支援等を行うものである。

● **その他**

訓練当日の気象状況等によっては、訓練を中止又は延期する場合があります。

参 考 : 昨 年 の 災 害 对 策 训 练 の 状 况

